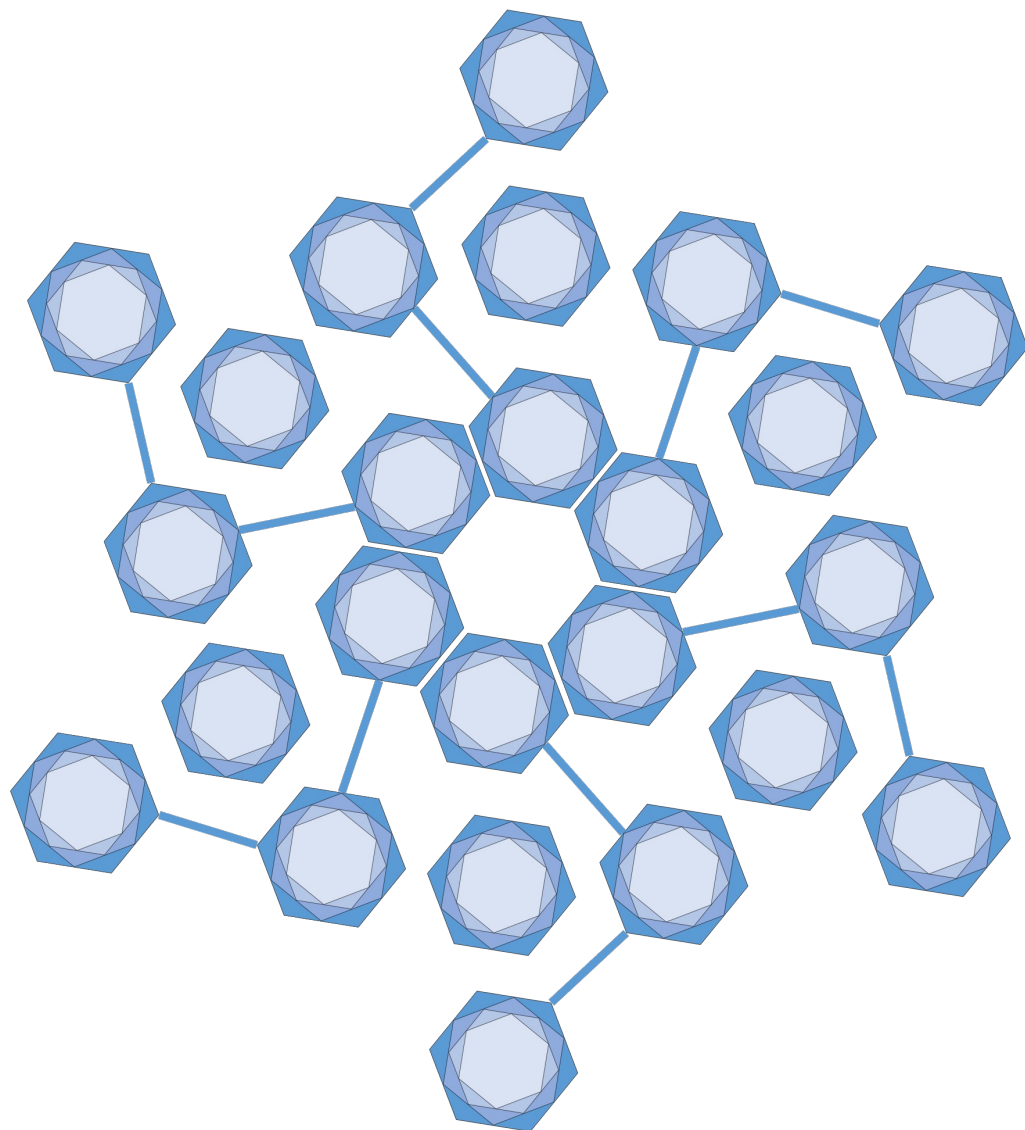


<第1号通信>



ACT Japan ANNUAL CONFERENCE 2023
Osaka

09-10 March, 2024

連携と発展

——哲学・理論・研究・実践の関係を考える——

November, 2023

大会テーマ

連携と発展

——哲学・理論・研究・実践の関係を考える——

文脈的行動科学（CBS）では、哲学、理論、モデル、研究、そして臨床実践の有機的連関が強調されています。「人間の苦悩の軽減と生活の向上を促進すること」を目的とするACT Japanも、この連携を意識しながら日々活動を続けています。

近年、（CBSに限らず）幾度となく言われてきた「実践—研究間の乖離」だけでなく、RFTとACTの乖離も指摘されるようになってきました。えー、そうなの！？ ……実際にそうなのでしょうか？ そうだとしたら、私たちはどのような方向に舵を切るべきでしょうか？ どうやら、現状の整理と将来の展望の共有が必要そうです。

2022年度年次ミーティングは、「論（語る）」だけでなく「証拠（データ）」に基づくことの重要性、研究—実践間の連携に意識を向けさせるものでした。そこで本大会では、それを引き継ぎ、さらに深めることを目指して上記のテーマを設定してみました。

哲学は私たちの実践や研究をどのように支え、方向づけるのでしょうか？ RFTとACTの関係はどうなるのでしょうか？ 研究は実践に実用的な情報・技術を提供できているのでしょうか？ 実践は研究に取り組むべき問いを明示できているのでしょうか？

多様な価値・視点・領域・関心を持つ参加者による相互作用を通してコミュニティを発展させ、「基礎分野と応用分野、実証的知見と実践的応用の間のダイナミックで継続的な相互作用を尊重する科学的視点の促進を目指す（会則第2章4条）」。2023年度年次ミーティングでは、以上のようなテーマとビジョンのもと、CBSのさらなる発展にむけた連携のあり方を探りたいと思います。

2023年度 年次ミーティング開催責任者 嶋 大樹（追手門学院大学）

大会概要

日時・開催方法

参加費

日時：

2024年3月9日（土）—10日（日）

一般会員 : 4,000円

学 生 : 2,000円

非 会 員 : 8,000円

開催方法：

対面

◇会場 = 追手門学院大学

総持寺キャンパス

（大阪府茨木市太田東芝町1-1）

※一部プログラムは録画し、
会員限定（年次ミーティング不参加者含む）での
無料配信を計画していますが、
機材状況等により実現できない場合があります

※録画の質等は保証できかねますので
予めご了承ください

※参加登録（申込）は、
2024年1月中旬開始予定です

※会員区分での申込みには、

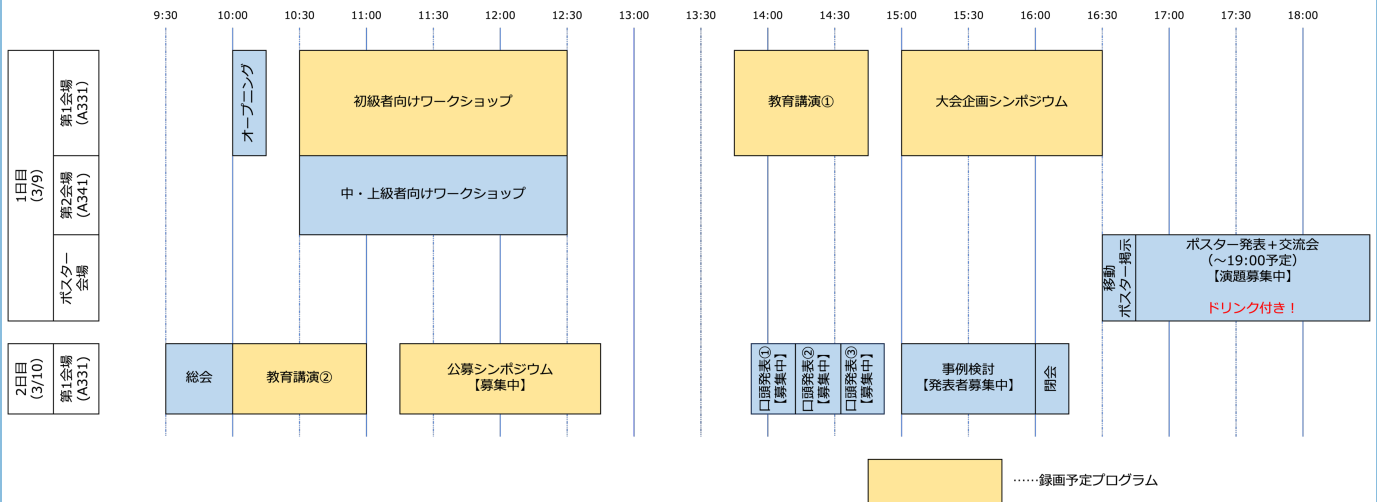
今年度の学会年会費の納入が必要です

※2024年1月19日（金）までに入会申請を行い、
1月23日（火）の理事会での入会承認を得て、
1月31日（水）までに入会金と年会費をお支払
いただいた場合は、一般会員として参加
申込み可能です

※これまでに会員メーリングリスト等で一斉に
アナウンスさせていただいています通り、
現在一般会員の方で、ご自身の入会年度から
2022年度までの間に3年間の年会費未納がある
方については、2023年11月上旬に除籍とさせ
ていただきますので予めご了承ください。
問題なく納入されているかどうか、ご自身の
納入状況について、MiiT+からご確認ください

※ポスター発表時にドリンク提供
（追加料金無し）を予定しています

プログラム（予定）



<会場限定>

- ・中・上級者向けワークショップ
- ・口頭発表（学術発表／情報交換）
- ・事例検討
- ・ポスター発表（学術発表／情報交換）

<録画予定>

- ・初級者向けワークショップ
- ・教育講演
- ・シンポジウム

※懇親会はありませんが、交流会としてポスター発表時にドリンク提供を予定しています

演題募集／発表申込

※絶賛募集中※

◆公募シンポジウム・事例発表・口頭発表：
～2023年12月22日（金）

◆ポスター発表：
～2024年02月10日（土）

次ページの申込要領をご確認の上、Webからお申し込みください



<https://forms.gle/hj7qNEnwJsANjw5x7>

※一般参加申込は2024年1月中旬開始予定です

申込要領

公募シンポジウム

公募シンポジウムは90分枠です。企画者はACT Japanの会員に限ります。公募シンポジウムの企画を申し込む際は、以下の内容をご作成の上、Web申込をお願いいたします。応募多数の場合は、大会準備委員会による審査によって採否を決定いたします。

- (1) 自主シンポジウムの企画名
- (2) 企画者、司会者、話題提供者、指定討論者
(全員の氏名、所属、会員/非会員)
- (3) 800字以内の企画概要

※配信の可能性があるため、事例発表は不可

事例発表

事例検討会の事例発表者を募集します。発表者はACT Japanの会員に限ります。以下の内容をご確認の上、Web申込をお願いいたします。

- (1) ACTに基づく個人セッションか、集団による介入かは問いません。他の学会および学会誌等で公表したものでかまいません。
- (2) クライアントおよび所属機関から発表同意が得られているなど、一般的な倫理的手続きを経ている必要があります。また、個人情報の保護に努めてください。場合により発表をご辞退いただくこともございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。
- (3) 事例検討は発表時間は30分、質疑応答、ディスカッションは30分程度です。
- (4) 発表の応募については、事務局により選考させていただきます。

※web申込とは別に、発表内容の概要(800字以内)をご送付いただきます。詳細はweb申込画面でご確認ください。

口頭発表

口頭発表は、発表15分・質疑応答5分の20分枠です。発表者はACT Japanの会員に限ります。口頭発表には「学術発表」と「情報交換」の2タイプがあります(※1)。事例発表等も可能です。口頭発表を申し込む際は、以下の内容をご作成の上、Web申込をお願いいたします。応募多数の場合は、大会準備委員会による審査によって採否を決定いたします。

- (1) 口頭発表の演題名
- (2) 発表者氏名、所属、会員/非会員
- (3) 400字以内の要旨

ポスター発表

ポスター発表の在籍時間は60分です。筆頭発表者はACT Japanの会員に限ります。ポスター発表には「学術発表」と「情報交換」の2タイプがあります(※1)。事例発表等も可能です。ポスター発表を申し込む際は、以下の内容をご作成の上、Web申込をお願いいたします。

- (1) ポスター発表の演題名
- (2) 筆頭発表者、共同発表者
(全員の氏名、所属、会員/非会員)
- (3) 400字以内の要旨

※1 口頭発表/ポスター発表の2タイプ

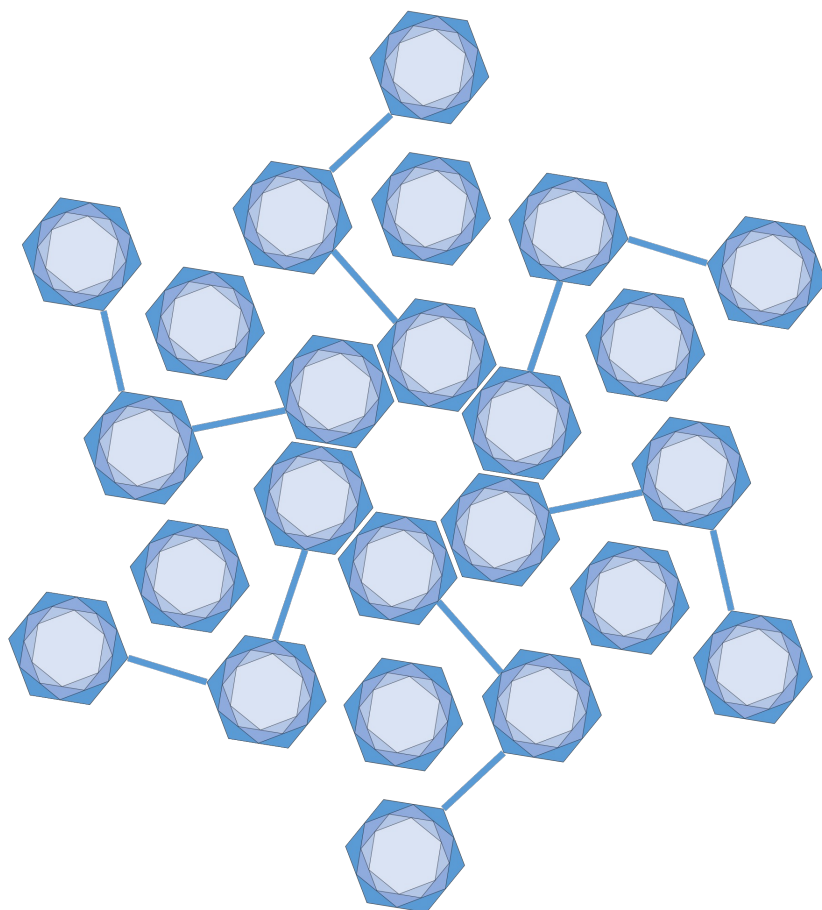
学術発表：原則として、研究の目的・方法・結果・考察・引用文献などの項目に分けて記述し、「科学論文の要件」を満たした発表が該当します。事例研究も可能です。演題の採否は、事前に提出された発表要旨に対する大会準備委員会による審査によって決定いたします。

情報交換：他学会等での発表済みの内容、研究計画、実践報告、独自に作成したメタファー・エクササイズ・プログラムの紹介など、自由な内容の発表が該当します。以前に別の学会で発表したものの、ACT Japan会員からも意見を貰いたい、新しい研究のアイデアがありディスカッションしたい、面白い情報/アイデアを持っているので披露したいなど、自由な形式にてご発表いただけます。なお、情報交換での発表の場合は、研究業績とはなりませんのでご注意ください。

※絶賛大募集中※



<https://forms.gle/hj7qNEnwJsANjw5x7>



ACT Japan ANNUAL CONFERENCE 2023

Osaka

09-10 March, 2024

STAFF

◆準備委員◆

茂本由紀 (武庫川女子大学)
井上和哉 (立命館大学)
伊藤雅隆 (福島大学)
津田菜摘 (同志社大学)

◆開催責任者◆

嶋 大樹 (追手門学院大学)

お問い合わせ：ACT Japan年次ミーティング2023運営事務局
act.japan.annual@gmail.com